

防犯防災総合展で防災セミナーを実施

～心を動かす防災教育コンテンツを紹介～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：山口 和寿・損害保険ジャパン株式会社常務執行役員）では、6月9日（金）にインテックス大阪で開催された「防犯防災総合展」に参加し、地震保険の普及を目的とした防災セミナーを実施しました。

当日は、和歌山大学教育学部地学教室の此松 昌彦教授に「地域住民が発災前に行えるマーケティングを利用した防災教育コンテンツ」というテーマで、地域住民の防災意識を変えるには感動（心を動かすこと）が必要であり、そのためにはマーケティングの観点から人の心を動かすコンテンツを開発し、これらを活用した防災教育が重要であるとお話いただきました。あわせて、此松教授がこれまで開発された「3.11 メッセージ 防災啓発用DVD映像」や「防災ソング」「防災エクサダンス」等の心を動かす教育コンテンツをはじめ、中学校の校内放送を地域のラジオ局に変身させた地域と学校との連携による防災の取り組みや地図（陰陽図）を利用した防災教材、衛星安否確認サービス「Q-ANPI」の実証実験を紹介いただきました。

また、当支部の大東 建司主査が、最近頻発している地震や今後予想されている南海トラフをはじめとする巨大地震のリスクへの経済的な備えとして、地震保険のしくみを説明するとともに、その必要性を呼びかけました。

当支部では、今後も自然災害リスクの軽減に向けた啓発と地震保険の普及拡大に向けた取り組みを行っていきます。



此松教授の講演



大東主査の説明



セミナー風景